

広瀬川通信

2013. 12. 6 <http://www.hirosegawa.com>

発行：特定非営利活動法人 広瀬川の清流を守る会

〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目2-16-201

☎022-247-6522 ㊟022-290-3205

<報告>

◆11月9日 牛越橋河川敷で清掃実施（社会貢献証明発行）

～記録的なサケ遡上に感激～

河川工事のため広瀬橋地区から2回目の移動清掃を行いました。

今回の牛越橋地区は、大分芋煮会人数が少なくなった会場でしたが

上下の浅瀬に沢山のサケが水しぶきを上げながら川底を掘り、産卵する

サケの光景が見られました。来場者は、初めてサケを間近に見て広瀬川

の生命のドラマに感動している様子でした。（参加者30名）



11/9 牛越橋上流

◆11月29日 みやぎの“いい川づくり”研修会に参加

多自然型川づくりの技術と推進の方策をテーマに河川行政に係わる国交省、宮城県の職員、コンサル、エンジニア、NPO等50名の参加者が仙台市青年文化センター・エッグホールを会場に2日間にわたり広瀬川や貞山運河などを見学するフィールド研修と座学研修を実施。行政からは、宮城県土木部河川課、国交省酒田河川国道事務所、岐阜県県土整備部河川課職員らが「広瀬川殿地区の川づくり事例」や「赤川自然再生事業」の報告、コンサル技術者らが「多自然川づくり」事例と計画について講座。最後に全体討論が行われ、治水・利水・環境のバランスを考慮した川づくりや市民の声を聞く川づくりについて様々な質疑応答があり、活発な研修会となりました。日下会長は、酒田赤川の魚道が機能しないことを例に挙げ、河川行政の難しさ、市民協働の具体的な川づくりについて問題提起をしました。

感想として「いい川づくり」とは、河川管理者の行政側が従来の説明型の川づくりから「川の特性を活かした市民協働の川づくり」をどのように実現するか。そのためには、時代に合ったイノベーションの必要性を感じました。

（主催 NPO法人水・環境ネット東北、NPO法人全国水環境交流会）

<予定事項>

◆12月14日（土）午前10時 牛越橋 広瀬川右岸上流河川敷 清掃+焼き芋会（河川敷駐車可）

→ 牛越橋から上流約500m・「ウィンディ広瀬川」から右折・河川敷へ入川

→ 一般市民、企業CSRの参加大歓迎です。（参加無料）長靴・ゴム手袋・ヒバサミ持参・

◆平成26年1月11日（土）午前10時～12時 広瀬川初歩き 終了後新年会（3千円） 参加者募集

コース 広瀬橋→愛宕橋→霊屋橋→大橋（広瀬川の野鳥観察、歴史などを語り合いながら散策します）



広瀬川に渡鳥飛来 写真募集（動画可）

広瀬川に関する投稿（写真・動画・文）の応募をお待ちしております。

提供者のご了解の上、本会HPに掲載させていただきます。

～会員募集～

広瀬川を愛する方・良くしたい方・語りた方

清掃体験からご参加ください・お問い合わせはe-mailで

info@hirosegawa.com